

fein♪の「顕現 武器との巡り逢い」報告レポート

2つともパーティー編成で特別な制限はないと思います。倒すっていう目的だけなら問題はないので、下記を学ぶ機会としました。

- マナのギャヴレットの冠を使い、戦闘短縮化を目指す
- アナベルが敵の全体攻撃からパーティー全体をフロントに出したまま守り切れるのか、それによって立ち回りがどう変わるか考える
- ZONEは使わず強化されたアナベル、ASシオンなどを使ってみる
- 可能なら引き続きASマリエルの蘇生を活かせるか検証
- 敵の行動だけはある程度把握し、あまり精巧なループを組まずにやってみる

アビス・イーター



眷属の動きが今までと違いワンパターンではなかったです。これが想像以上に厳しくて数回しかギャヴレットの冠が使えなかった…。このパーティーでは眷属を一撃で倒せなかったため、ミュルスとアナベルで守りながらナギで一匹ずつ倒す流れで挑みました。

危ないシーンはあまりなかったけども、これはアナベルの回復があつてのものでしょう。全属性耐性バフも付いてますし、守りの硬さが光りましたね。

獅子王灰燼



ここはギャヴレットの冠が大成功で、火力の出るパーティーじゃなくてもゴリゴリ減らすことができました。

ショックフレイムが思わぬ威力でユーインが倒れてしまいましたが、ASシオンとアナベルで交互に挑発することで難なく蘇生成功。

盾キャラに敵を引き付けつつ、他メンバーでバフデバフと蘇生を行う。

美しい緊急対応ができて満足です。

今回得ることができた大きな成果は下記の2つ。

- ギャヴレットの冠と小夜のサンドリヨンを使いこなすことで、マナはデバフ役ではなくバフ役として火力を引き出す役割もできることが分かった。
- アナベルの防御性能はエレメントウォールが極めて大きく、これにガーディアンソウルを合わせることであらゆる攻撃にパーティー全体で備えることのできる盾キャラであることが分かった。今までのように守り専用ターンを設けずとも問題が生じない。

